

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	新型コロナウイルス感染症蔓延の母乳栄養への影響についての検討
研究責任者	藤田侑里
研究機関名	日本赤十字社医療センター 産婦人科
研究目的と意義	2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、里帰り分娩や立ち会い分娩、母親学級などが多くの施設で中止されました。 母乳育児においては、妊娠中から産後に至るまでさまざまなサポートが求められますが、ソーシャルディスタンスを保つことで、医療スタッフによるアドバイスやケアが不足し、母乳育児がうまくいかないケースが増えることが懸念されます。 当センターにおける褥婦の母乳栄養率と新型コロナウイルス感染症流行の関連について検討を行います。
研究方法	2020年に当センターで出産された方で、単胎、正期産、児出生体重2500gから4000gであり、児の入院による母子分離がない1669人を対象としています。 退院時と産後1ヶ月時点における母乳栄養の有無をそれぞれ目的変数として、カイニ乗検定と多変量ロジスティック回帰分析を行います。共変量として母体年齢層、分娩歴、分娩様式、新生児入院有無を調整し、オッズ比と95%信頼区間を出して解析します。産後1ヶ月時点における回帰分析には、退院時母乳栄養の有無も共変量に加えて検討します。なお、本研究において個人情報特定されることはありません。もし本研究に参加を希望されない場合には下記までご連絡ください。その場合、以後の診療に不利益となることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：藤田侑里 木戸道子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604